

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61757</b>	プロジェクト:
-----	---------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	313		図 3	ed	図中には「Y スプリッター」が記載されている。	注記を「信号分離は、Y スプリッター等の 1×2 光ブランチングデバイスによって実現される。」とした方が良いのではないかと考える。	図 3 の「Y スプリッター」を「1×2 光ブランチングデバイス」に変更します。
渋谷 隆 1	851 911 928	A.6 A.9		ed	“考慮しなければならない” 附属書 A は (参考) だが、“なければならない”は要求表現になっている。  具体的な数値規定でないので、用いたとの解釈か。	確認願います。	“考慮する必要がある”に修正します。対応国際規格でも“shall”が使われているので、IEC にも修正を提案します。
渋谷 隆 2	925	A.9		ed	“取得する。”は要求表現ではないか。 附属書 A は (参考) である。	“取得するのが一般的である”などの表現に変更する。	修正案に同意します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2022/11/28	規格番号: C6820	プロジェクト:
----------------	-------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	77	3.3		ge	「裸光ファイバのガラスクラッドに」とありますが、4.2ではプラスチックも記載されています。また、3.7では、「全プラスチックマルチモード光ファイバ素線」との記載があるので、光ファイバ素線にはプラスチックも存在するのではないのでしょうか。		<p>裸光ファイバのガラスクラッドに直接1層、2層若しくは着色層を含む複数層からなるプラスチックの1次被覆を施した石英系光ファイバ、コアを石英系ガラスとしクラッドをプラスチックとする光ファイバ、又はコア及びクラッドを共にプラスチックとする光ファイバ</p> <p>ご指摘の箇所は、上記下線の部分になりますが、その後続く説明文の二重下線の通り、プラスチックを材料とするファイバも含む説明としておりますので、光ファイバ素線にはプラスチックも存在する内容となります。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C6864</b>	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 哲郎 1	599	B.2	図 B.1	ge	グラフの縦軸及び横軸に単位が記載されていない。	グラフの縦軸及び横軸に単位を記載する。	横軸は $\mu\text{m}$ と記載します。縦軸は面積を示しておりますが、具体的な単位はありません。
渋谷 隆 1	707	D.1	図 D.1	ed	図が不鮮明。	描き直してください。	PDF 作成時に不鮮明になったことがわかりました。修正いたします。
渋谷 隆 2	875	参考文献		ed	参考文献番号[1]などが付与されているが、本文で引用していない。	検討願います。	参考文献ですが、[1]~[12]は、対応国際規格どおりになります。このままでお願いいたします。
					本文で引用していないのであれば、参考文献番号の付与は不要ではないか？		
					今回はこのままでも良いですが、対応国際規格は、ISO/IEC Directives Part 2 の推奨に従っていないように思えます。本文中に参考で参照されている文書は、順番に番号を付与し、本文中に引用されていない文書は番号は付与しないのが良いと思います。対応国際規格の次回改訂時に提案をお願いします。		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。